

Q 活力ある町づくりを どうすすめるのか

一般質問

A 町民交流の場の設置や企業誘致に 取り組む

問

銀行や企業の撤退、少子化、さらに大震災で一段と町の活力が低下しているのではないかと。活力あるまちづくりについて聞く。

町長

町の活性化をどう図るかが重要な課題であり、全力で取り組んでいく。この

問

ため農商工一体となった「町民交流の場」を整備するため、「道の駅」を含めた総合的な調査検討を行う組織を設置する。その中で建設場所、運営主体や町民が集える必要な施設について検討を行う。

町長は企業誘致による工業の振

興や人口減少に全力で取り組むというが、その実現性について聞く。

町長

町の活性化には企業誘致も重要な施策の一つである。町内には活用されていない工場用地が二か所ある。今後、既存企業の拡張や災害関係企業の新たな進出などについて、福島県工場誘致協議会や東邦銀行などと連携を図りながら、取り組んでいく。

住宅の除染はいつからか

問

近隣市町では住宅の除染が進ん

でいるが、町ではいつになるのか。

原発災害
対策室長

早急に取り組むたいが、仮置場がないため未だに住宅除染を始められない状況である。仮置場の確保について町民並びに議員にご協力をお願いする。

問

仮置場の確保ができないなら、福島市で行っている自宅敷地内に一時保管する方法はどうか。

原発災害
対策室長

現在、公共施設の除染は敷地内に保管している。住宅の除染でも今後その方式を検討する。

問

仮置き場を確保した区域から除染をするのか。

原発災害
対策室長

そのように考えている。

問

現在、除染を行っているのは町内の業者か。

原発災害
対策室長

公共施設の除染はすべて町内業者である。生活圏の森林は県北森林

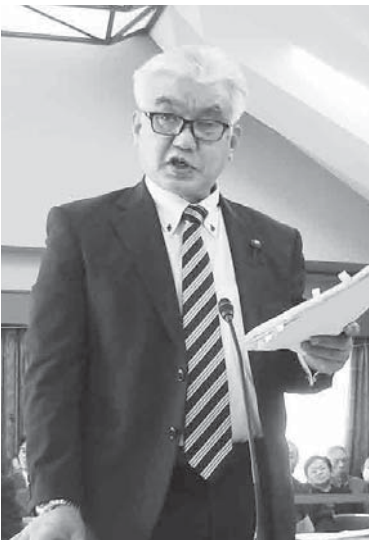
原発災害
対策室長

各業者において確保している。

問

作業員の不足から除染が遅れているという報道がある。作業員の確保はなされているのか。

組合に委託している。



阿部泰藏議員



山崎工業団地の工場用地



佐藤定男議員

Q 新庁舎建設をどう進めるのか

A 27年2月完成を 目指している

一般質問

問 新庁舎建築の現状と今後のスケジュールは怎么样了か。

注したい。

問 庁舎駐車場・建築面積は。

総務課長 庁舎建設基本計画について1月中旬まで町民の意見を聞き最終案を取りまとめ、1月下旬に公表する予定でいる。なお、

総務課長 旧庁舎は2400㎡程度だが、新庁舎は地下駐車場の約1000㎡含め4900㎡程度で計画している。

実施設計を7月末に完了し9月には工事を発

問 総工事費、建築資金の財源は。

総務課長 工事費は15億円程度で内10億円

は国からの復旧関係の交付金を見込んでいる。残りは借入金だが、大部分は交付金により補填される。

問 庁舎復旧検討委員

会は今後どのように関わっていくのか。

総務課長 基本計画について町民の意見を加えたうえで最終的な意見を頂

く。

問 新庁舎は国の補助

金、つまり税金で建築する。したがって機能性

を第一に無駄を省き金額をできるだけ圧縮すべきでないか。

町長 町民に不便を

かけていることから早急に建築を進める。建築方針として

は、町民のための公共スペースや子供のためのスペースの確保、わかりやすい、利用しやすい、高齢者や障がい者への配慮した庁舎、防災拠点としての庁舎とする。更に将来的にも町を維持していくという視点で進めていく。

議員の意見を踏まえ、基本計画を早急に策定し、平成27年2月を目途に完成させる。

問 旧小坂小・大木戸小の施設活用は

施設活用

問 施設活用

の検討委員会が設置されたとのこと、委員の構成メンバーは。

町長 委員は福島大学の牧田教授を座長に町内会長をはじめとする17名である。

問 町の基本的考え方・方針は。

町

町長 地域特性と地域の意見を踏まえた計画を前提としながら、更に町民全体で活用できる施設は何か、を十分見極めながら検討していく。

問 今後の具体的なスケジュールは。

町長 今年度内に委員会としての意見をまとめたていただく。

問 委員会の方針決定内容を地元住民や町民にどのような形で情報公開していくのか。

企画情報

課長 委員会での活用方針の

まとめについては議会に報告し、最終的な施設の活用方針、方向性は委員会の意見を基に幅広く検討を進めていく。



新庁舎イメージ